

船橋かるたによる、子供の健全育成を図る活動及び住みよい魅力あるまちづくり推進

【支援金確定額：165,856円 支援率：80%】

記入日：平成25年（2013年）3月21日

■どのような活動をしている団体ですか？

「船橋かるた」を使って子供達に地域への関心を持ってもらい、船橋への愛着を育てていこうとしています。船橋の歴史・文化・産業・自然等を詠んだオリジナルのかるたを通して、楽しみながら郷土愛を育み児童の健全育成を図ることを目的としています。

「船橋かるた郷土マップ」を作ることで親子や祖父母等の世代間交流をはかりつつ郷土に親しんでもらい、魅力あるまちづくりを推進していきます。



「かるたであそぼう」

■支援金をどのように活用されましたか？

支援金は主に「船橋かるた」100セットの製作費として活用しました。出来上がったかるたは小学校・児童ホーム・公民館のハッピーサタディ・こどもまつりで使用しました。宮本児童ホームでは大型かるたのぬり絵版を用意することで子供達に色を塗ってもらい宮本地区オリジナルのかるたが出来ました。宮本公民館にはこの大型かるたで参加しています。その他、放課後ルームやお休みどころなどにも普及のために設置しました。

定期的に宮本児童ホームで「かるたであそぼう」の事業を実施しました。宮本公民館を中心とした「船橋かるた郷土マップ」を作成しました。



「みやもとまつり」

■事業を実施して、どのような成果がありましたか？

峰台小4年生は社会の授業で実施し、3年生での郷土の学習を振り返ることが出来たと好評でした。芝山西小の3年生はかるたで船橋のことをたくさん知ることができてとても楽しかったとの嬉しい感想文を寄せてくれました。宮本児童ホームでは毎回子供達・職員にも好評で園長先生が南部ブロック会議で宣伝してくださり、海神児童ホームでも4～5歳児親子対象でかるた遊びを行いました。若いお母さん達にも喜ばれています。海老が作公民館のこどもまつりでも多くの子供達が楽しんでくれました。付き添いのおばあちゃんからもかるたを手にいれたいとの声が聞かれました。「ふなばし市民活動体験フェア」に参加した時も、船橋かるたやかるたマップに関心を持ってくださる方が多くいました。

■今後の活動の抱負について

各地域の「児童ホーム」での「かるたであそぼう」の定期開催を推進します。

児童の自分達の大型「船橋かるた」制作の推進をすすめます。

小学校の「郷土船橋」授業での「船橋かるた」の補助教材としての活用を促進します。

地域版（今年は北部）の船橋かるたの製作と普及につとめます。

老人福祉施設においても「かるた」の普及活動を行います。

「かるた」をもちいた「街あるきコース」の設定をおこないます。

■問い合わせ先：代表 鈴木 久美子（すずき くみこ）

TEL：047-435-2243